

2020年8月14日

荏田南2丁目の皆様へ
KP(神奈川精神医療人権センター)便り⑩

グループホームに住む精神障害者を、住民に襲いかかる「ケダモノ」扱いする横浜市都筑区荏田南のヘイト幟旗に対して、抗議の声が県内各地から上がっています。平塚市でピアサポーターとして活動している井上初男さんの声を紹介します。

精神疾患を疑われる犯人の特異的な事件が起きる度、実は「精神疾患ではなかった」と後に分かっても、精神障がい者全員が「ダメだ」「危ない」となってしまう。

精神疾患を発症すると、一般の会社は辞めさせられることが多い。症状が安定しても定職に就けない。「うちの近所に住まないでくれ」と社会の隅に追いやられてしまう。

横浜市都筑区荏田南に立つ黄色い幟旗。「精神障がい者は不安定な存在だから、青梅の山の中にある指定された居留地(精神病院)に住みなさい」ということなのでしょう。これは、米国で大問題となっている人種差別と同類の障がい者差別です。米国でBLM運動が活発化したように、「幟旗を降ろして欲しい」という訴えは、私たち精神障がい者の心からの叫びです。

精神疾患は、誰もがなる可能性があることが医学的にわかっています。精神障がい者を差別し、締め出そうとするのではなく、精神障がい者が人生に絶望せずに生きられる道を、一緒に考えてみて欲しいと切に願います。

神奈川精神医療人権センター (KP)
携帯 080-7295-8236 (毎週月から金 13時～16時)